

<h1>NO. 22</h1>	<h1>キャンプファイヤー (CF)</h1>
-----------------	-------------------------

1 ねらい

自然の懐の中で火を囲みながら仲間と楽しく活動したり、静かに過ごしたりすることで、より深い思い出づくりを図る。

2 活動の計画

- (1) 活動期間 4月～11月
- (2) 所要時間 60分～90分
- (3) 人数 最大250名
- (4) 活動場所 キャンプファイヤー場「カシオペヤ」または「おおぐま」, 屋根付広場
- (5) 準備物(長い薪24本の基本セットの場合)



〔自然ふれあい館〕	〔利用団体〕
<ul style="list-style-type: none"> ・長い薪24本・短い薪2束・トーチ5本 ・トーチ消火器・火バサミ ・灯油・消火器(非常用)・消火用バケツ ・火の神, 火の子用衣装・ペール缶 ・アンプ(マイクは下部に収納) ・ドラム延長コード ・ほうき, ちりとり, 十能 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記以外のもので各団体がスタンプ等で使用するもの

(6) 主な係 (例)

—係—

- ・営火係・・・トーチ, 火の管理, 消火, 後始末
- ・誘導係・・・火の神, 火の子の衣装, 誘導
- ・効果係・・・マイク, テープ, 伴奏
- ・進行係・・・会の進行
- ・出し物係・・・事前に準備

—役割—

- ・営火長・・・団体のリーダー
- ・火の神・・・点火の言葉
- ・火の子・・・グループの代表, 誓いの言葉

3 活動上の留意点

- ① 井桁(組んだ薪)は, 利用団体が明るいうちに組み, 使用後の火の始末, 道具の片付けまでお願いします。
- ② 強風の場合は実施できません。
- ③ 終了後の消火は水道のホースを使い, 確実に行ってください。
※消火器は緊急時の物なので, 通常の消火では絶対に使用しないでください。
- ④ 屋根付き広場での実施の際は, 消火用バケツでの消火になります。
- ⑤ トーチは再利用するので, 点火後はすぐに井桁から遠ざけてください。
- ⑥ 借用した物品は元の場所に返却してください。

4 参考資料

(1) 点火の言葉 (例)

① 泉岳自然ふれあい館のキャンプファイヤー場において、私たちは、今、まさにつどの火を燃やそうとしています。

暗闇の中に燃える炎、それは私たちの望みであり、友情であります。そして愛の力でもあります。

私たちは、この神秘の火を心の奥底におさめ、明日への新しい力として社会のために燃やし続けましょう。

② 光と熱のもとになる炎は、私たちの頬を染め、私たちの闘志のごとく激しく燃え上がろうとしています。

私たちの友情のきずなをより強くするため、私たちの胸の中にここでの活動の思い出を深くきざみつけましょう。今日の炎がいつまでも私たちの心の中で大きく燃え続けることを祈って。

(2) 誓いの言葉 (例)

① 私たちは、この自然ふれあい館で得た心と心の結び付きを生涯大切にすることを誓います。

② 私たちは、ここでの活動を通じて、健全な心身をつくり、自立・協同の精神を体得するため、努力することを誓います。

③ 私たちは、自然を友に心身をたくましくきたえ、社会の一員としてがんばることを誓います。

5 展開例

プログラム	係	内 容
1. 入場	全 員	①静かに入場し、井桁を囲んで円陣を作る。
2. 夜の歌	全 員	②「遠き山に日は落ちて」 1番は合唱, 2番はハミング
3. 営火入場	火の神	③ハミングが始まったら、火の神はトーチをかかげて火の子を連れて入場し、場内を一巡してから所定の位置につく。
4. 点火の言葉	火の神	④トーチを高くかかげて力強く述べる。
5. 分火	火の神 火の子	⑤火の神から火の子に分火する。 火の子の人数が多いときは、はじめに左右の火の子に分火し、後はリレー式分火とする方法もある。
6. 誓いの言葉	火の子	⑥火の神から分火された後、トーチを高くかかげながら述べる。
7. 点火	火の神	⑦ひざまづきながら、火の神・火の子が一斉に薪に点火する。
8. 炎の歌	全 員	⑧「燃えろよ燃えろ」を元気よく歌う。
9. 営火長の話		⑨キャンプの精神、営火の意義、友情、団結、協力などについて、感銘深い話をする。
10. スタンプ	全 員	⑩班ごとに演技する。
11. わかれの歌	全 員	⑪「今日の日はさようなら」 感謝の気持ち、終わりのあいさつを述べる。わかれの歌の途中からハミングにし、その中で述べてもよい。
12. 退場	全 員	⑫静かに列を崩さず退場する。ハミングしながら、またはバックミュージックを聞きながらの退場でもよい。

泉岳自然ふれあい館のキャンプファイヤーの始め方・片づけ方

キャンプファイヤーを行う団体は必ず目を通してください。

➤ 始める前に

- チェックリストの物品が揃っているか確認してください。
- キャンプファイヤーセットはリヤカー置場に用意されています。
神・子の衣装、冠、ドラムコード、アンプ（マイク：下部に収納）は玄関ホール・利用団体活動用具置き場にありますが。
- 井桁を組むのは明るいうちに行ってください。
- 屋根付き広場は直火禁止です。プレートを敷いて、その上にロストルを置いてください。後片付けの際はプレートの撤収も忘れずに行ってください。
- トーチは繰り返し使用しますので**点火後すみやかに井桁から遠ざけて下さい。**
また、トーチは専用の道具を使って消火してください。

➤ 片付け

① 物品

トーチ・トーチ缶・トーチ消火器・灯油缶・消火器・消火用バケツは、リヤカーに戻して倉庫前に戻してください。

※レンガはキャンプファイヤー場に据え付けの備品です。

② 消火

水を使い行ってください。消火後は必ず事務室までご連絡ください。

- 「おおぐま」「カシオペヤ」…水道のホース
- 「屋根付き広場」…消火用バケツ

消火器は非常用ですので、通常の消火には絶対に使用しないでください。

③ 灰の片付け

消火で濡れた灰は一晩おくと水が少なくなります。翌日の朝、ペール缶に片付けてください。

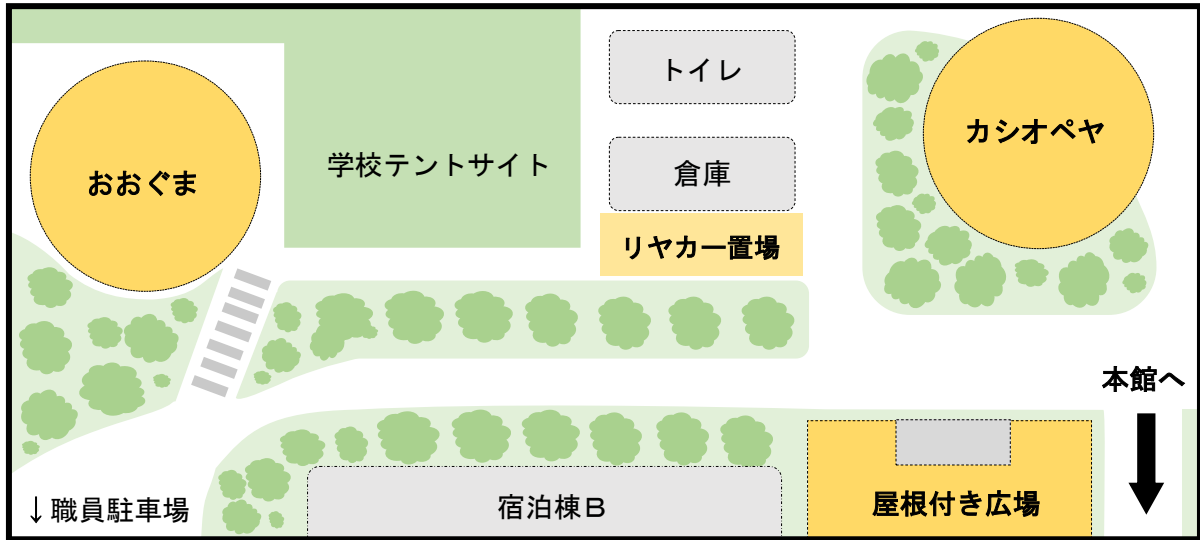
片付けが終わりましたら事務室までご連絡ください。

（夜間や翌日に雨がふって濡れてしまった場合もそのままペール缶に片付けてください。）

<コンセント・照明スイッチの場所>

- おおぐま：街灯の下のボックス
- カシオペヤ：街灯の下のボックス
- 屋根付き広場：コンセント・倉庫の左側，
照明スイッチ・倉庫の中右側

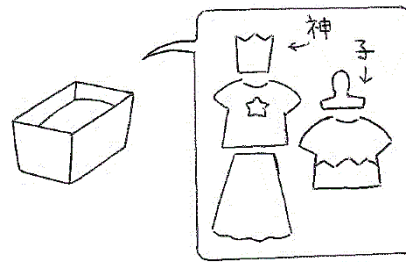
➤ ファイヤー場周辺・地図



➤ 貸出物品・キャンプファイヤーセット

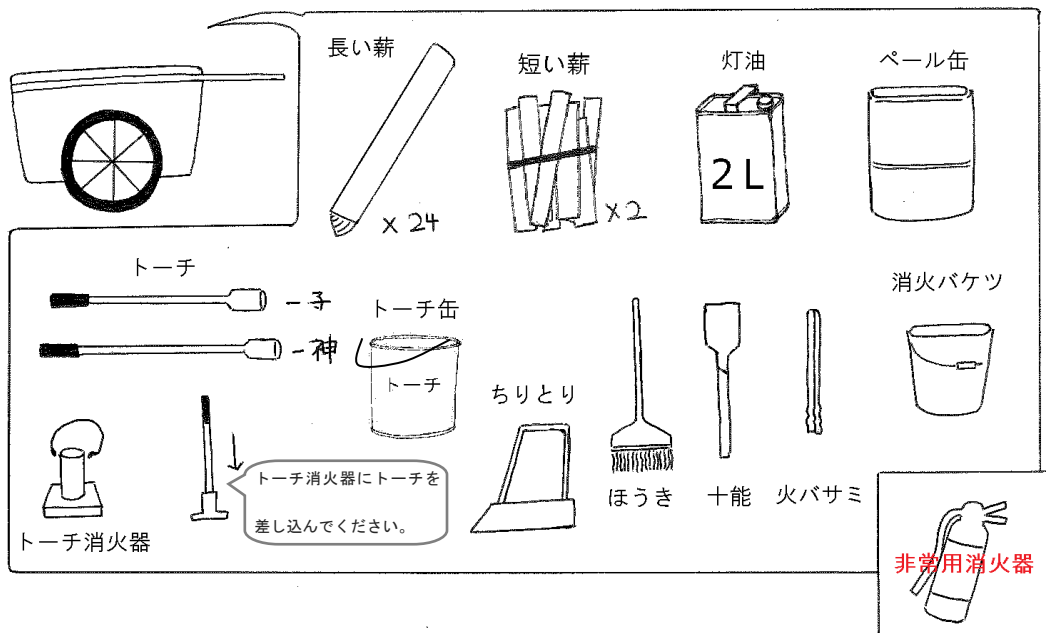
【貸出物品（希望団体）：利用団体活動用具置き場】

- ・神子衣装
- ・アンプ
- ・ドラムコード



【キャンプファイヤーセット（標準）：リヤカー置場】

- ・長い薪：24本
 - ・短い薪：2束
 - ・灯油
 - ・ペール缶
 - ・トーチ
 - ・トーチ消火器
 - ・トーチ缶
 - ・ちりとり
 - ・ほうき
 - ・十能
 - ・火バサミ
 - ・消火バケツ
 - ・消火器（非常用）
- ※セット（小）は 長い薪：12本



➤ 井桁の組み方

【おおぐま・カシオペヤ】

土台：レンガを4つ置きます。



【屋根付き広場】

土台：プレートを敷き、その上にロストルを置きます。

※直火禁止



組み方

1. 長い薪を井桁に組み、2～4本は井桁の中で交差させるように入れる。
(井桁の中に新聞紙を入れると点火しやすくなります。)



2. トーチ缶に灯油を移し、トーチに灯油を染み込ませておく。
3. 灯油の残ったトーチ缶に新聞紙等を入れ、灯油を染み込ませて、井桁の下の点火場所に置く。
※トーチは持ち上げた時に灯油が垂れてこないよう、始まるまで井桁の中に差して灯油をきっておいてください。

短い薪は演出に合わせて入れてください。

- ・最初に井桁の中に入れておくと、点火した際の火力が大きくなります。
- ・キャンプファイヤーの途中で様子を見ながら短い薪を追加することで、火の勢いや時間を調整できます。